

# 記入例

## 農業経営改善計画認定申請書

平成 28年 〇〇月 〇〇日

筑後市長 殿

申請者住所 筑後市大字山ノ井△△△番地2

氏名 楠木 太郎

楠木

昭和 〇〇年 〇月 〇〇日生 ( 〇〇歳 )

電話番号 090 - 〇〇〇〇 - △△△△

農業経営基盤強化促進法（昭和55年法律第65号）第12条第1項の規定に基づき、次の農業経営改善計画の認定を申請します

農業経営改善計画					
① 目標とする営農類型	水稻 + 施設野菜				
② 経営改善の方向の概要	<p>●農業経営の現状 (例) これまで妻と2人で水稻や施設野菜経営を行っていた。</p> <p>●目標とする農業類型へ向けた具体的な方策 (例) 来年長男が農業研修を終え経営に参画する予定なので、ハウスを増設し、栽培園地を拡大する。</p> <p>●労働時間等作業従事に関する事項 (例) 長男が経営に参画したら、妻は主な農作業から補助的な作業を担当し、ゆとりある生活と所得の安定を実現する。</p>				
5年後の目標を記入 ・農業所得520万円以上 ・労働時間2000時間程度	年間農業所得及び年間労働時間の現状及び目標				
		現状		目標 (33年)	
	年間農業所得	5,780 千円		6,150 千円	
	年間労働時間	2,400 時間		2,000 時間	
③ 農業経営の規模の拡大に関する目標	作目・部門名	現状		目標 (33年)	
		作付面積 飼育頭数	生産量	作付面積 飼育頭数	生産量
	水稻	90 a	4100kg	90 a	4100kg
	麦	200 a	7200kg	200 a	7200kg
	施設トマト	20 a	33,000kg	35 a	57,750kg
経営面積合計	220 a		235 a		

③ 農業経営の規模の拡大に関する目標	区分	地目	所在地 (市町村名)	現状		目標 (33年)		
	所有地	田畑	筑後市 筑後市	200a 5a		230a 5a		
	借入地	田	筑後市	50a		20a		
	③	特定作業受託	作目	作業	現状		目標 ( 年)	
					作業受託面積	生産量	作業受託面積	生産量
	<p>特定作業受託とは、基幹作業を全て受託し、生産物の出荷名義が申請者である作業受託です。 ③の経営面積合計に含めます。</p>							
	作業受託	作目	作業		現状		目標 (33年)	
		水稻	田植 収穫		100a 100a		100a 100a	
		単純計			200a		200a	
		換算後			100a		100a	
農畜産物の加工・販売 その他の関連・付帯事業	事業名	内容		現状		目標 ( 年)		
	<p>「換算後」は、作業受託面積の 単純計÷作業数により算出。</p>							
④ 生産方式の合理化に関する目標	機械・施設	機械・施設名		型式、性能、規模等及びその台数				
				現状		目標 (33年)		
	トラクター		45ps		1台		25ps 1台	
	トラクター		45ps		1台		45ps 1台	
	田植機 (共同)		5条植		1台		5条植 1台	
	コンバイン		6条刈		1台		6条刈 1台 (更新)	
	パイプハウス		2,000㎡				3,000㎡	
	トラック		1t		1台		2t 1台 (更新)	
暖房機		500型		1台		500型 1台 300型 1台 (新規)		
<p>・目標年度までに機械・施設の購入及び買換え等を検討されている方は必ず記入して下さい。 ・各機械の規格 (Ops・O条・Ot・O型・O棟) も必ず記載してください。</p>								

④ 生産方式の合理化に関する目標	農用地の利用条件	現状	目標（33年）
		30a区画中心	隣地を借入れ農地の集約化を図り、作業効率の向上を図る。
	作目・部門名	現状	目標（33年）
	施設野菜	2,000㎡のハウスでトマトを栽培	ハウスを拡大し、所得の向上を図る
	水稲	基肥+追肥の2回散布	施肥方法の省力化
		現状	目標（33年）
⑤ 経営管理の合理化に関する目標		青色申告しているが、税理士任せで経営状況を把握していない。	複式簿記記帳を行い、経営と家計の分離をする。
⑥ 農業従事の態様などの改善に関する目標		特に休日を決めていない	休日制の導入 雇用の活用 後継者の育成
⑦ 目標を達成するために取るべき措置	経営改善の目標	措置	
	生産方式の合理化	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助事業及び制度資金、農業経営基盤強化準備金を活用し、機械・施設等の導入を行う。</li> <li>側条施肥方式の導入により基肥散布と追肥作業の省力化を行う。</li> <li>農地保有合理化事業により農地の集積を行う。</li> <li>肥培管理を徹底し、品質の向上を図る。</li> </ul>	
	経営管理の合理化	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業簿記研修会に参加し、複式簿記を習得する。</li> </ul>	
	農業従事態様の改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>家族経営協定を締結し、休日制を導入する。</li> <li>雇用により、農作業の省力化を図る。</li> <li>後継者の育成</li> </ul>	
		<p>⑦目標を達成するために取るべき措置とは、 ②から⑥までの目標を達成するための具体的な方策について 本認定制度の活用も踏まえて記入する。</p>	

目安として1日を8時間とする。

	氏名 (法人経営にあつては役員 の氏名)	年齢	代表者との続柄 (法人経営にあつては役職)	現状		見通し	
				担当業務	年間従事 日数(日)	担当業務	年間従事 日数(日)
(参考) 経営の構成	楠木 太郎	〇〇	(代表者) 本人		300		250
	楠木 梅子	△△	妻		250		150
	楠木 太陽	□□	長男		0		200
雇 用 者	常時雇 (年間)	実人数	現状	0 人	見通し	1 人	
	臨時雇 (年間)	実人数	現状	3 人	見通し	3 人	
		延べ人数	現状	25 人	見通し	45 人	
(参考)	認定市町村名	認定年月日		備考			
他市町村の 認定状況							

現在農業に従事しているが、5年後にはリタイヤする見込みの者や、5年以内に就農予定の者も記入する。

「実人数×日数」で計算した人数を記入する。